
鳥かごの姫

律花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鳥かごの姫

【Nコード】

N1351N

【作者名】

律花

【あらすじ】

ずっと真っ白な部屋に閉じ込められていた鳥かごの姫。

彼女の目に、世界はどんなふうに映るのだろう。

この部屋には、窓がない。

だから鳥かこの姫は、この真っ白い部屋しか知らない。

清潔なベッド。花瓶に生けられたみずみずしい花。運ばれる豪華な食事。金糸、銀糸の織り込まれたドレス。まいにち部屋に来る召使に頼めば、彼女はなんでも欲しいものを手に入れられる。

ただひとつのものを除いて。

王様は、鳥かこの姫を溺愛していた。

だから、傷つけたくなくて、汚したくなくて、自分だけのものにしたくて。王様は、彼女を部屋に閉じ込めた。あらゆるものを手に入れられる鳥かこの姫は、けれど外の世界を見ることだけは許されない。

哀れな娘。まるで、かごの中の鳥のようだ。誰もがそう言った。

*

かちやりと鍵の開けられる音。数人の召使が部屋に入ってきた。

鳥かこの姫はきれいなドレスに着せ替えられて、腰まで届く金色の髪を、丁寧に梳かれる。

ねえ。いま、空はどんな色をしているの？

透き通るような青色をしていますよ、お姫さま。

鳥かこの姫はいつも、空の色を召使に聞いた。

外の世界でしか見ることでできない空。本や召使の話から、想像することしかできない空。

ずっと真っ白な部屋にいる彼女にとって、そのときどきで色を変え
る空は、とても不思議なものだった。
そして、とても懂れるものだった。

*

ある日、鳥かごの姫は夢を見た。

彼女は真っ暗闇に閉じ込められている。そこに、一羽の金糸雀が
舞い降りた。黄金のような色をした、とても美しい金糸雀だった。

彼女は問いかけた。

あなたは誰？ どうしてこんなところにいるの？

私は金糸雀。あなたにいいことを教えてあげようと思って、こ
こに来たの。

金糸雀の高く通る声の意味が、なぜか鳥かごの姫には理解できた。

いいことって何？

あなたが、この檻のような場所から逃げ出す方法よ。

あまりにも突飛な金糸雀の言葉。きよとんとする鳥かごの姫に、
金糸雀はこう言った。

もし、あなたが望めば……あなたを、ここから連れ出してあげ
る。

鳥かごの姫は息を飲んだ。

彼女に唯一許されなかつた願い。外の世界を見ること。それが

叶う？

胸の高鳴りを抑え切れない鳥かこの姫に、金糸雀は言う。

ただし、条件があるわ。

条件？

いまの生活を捨てること。あたたかい部屋も、きれいなドレスも、やさしい召使も。なにもかも。

鳥かこの姫に迷いはなかった。外の世界を見られること。彼女にとって、それに勝るものなんて何ひとつとして存在しなかった。

ええ、いいわ。金糸雀さん、どうかわたしを連れて行って。

鳥かこの姫の言葉に、金糸雀は一際美しい声でさえずった。それから、遠くへ飛び去った。

*

なんておかしな夢。ベッドの上で目覚めた鳥かこの姫は思う。だけど、胸のざわつきは静まっていなかった。

ただのおかしな夢。ほんとうにそう？

そつとドアに歩み寄り、ノブを回してみる。いつもなら開かないドアが、まるで魔法がかかったみたいに、簡単に開いた。

震える足で、鳥かこの姫は部屋の外へと踏み出した。外には誰もいなくて、辺りは静寂に満たされていた。

廊下をまっすぐ進んでゆくと、螺旋階段に突き当たった。

鳥かこの姫はためらいなく、その階段を下りていった。一步一步、ゆっくりと。

永遠に続くのではないかと思われるほどの長いながい階段。いつ

しか、足の震えは止まっていた。この階段の終わりにあるもの思いを馳せ、鳥かごの姫はいままで感じたことのない気持ちを味わっていた。

*

ようやく、階段が途切れた。

目の前には大きなドア。鳥かごの姫は小さく息をつき、それからノブを回し、力を込めてドアを押し開ける。

まばゆい光が、彼女を包んだ。

涼やかな風が、彼女の長い髪をふわりと揺らした。頭上に広がるのは、果てのない、どこまでも青い

そして、

鳥かごの姫は、世界を見た。

(後書き)

何もない部屋にそれまでずっといたひとが、初めて外の世界を見たときってどんな気分になるんだろうと想像しながら書きました。

結局想像が及びませんでした……外の世界を見た鳥かこの姫の心情を書いていないのはそのためです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1351n/>

鳥かごの姫

2010年10月10日21時00分発行